

さんようおのだ 議会だより

2015.5

給食センター予算
を可決 — 2

委員会レポート — 4

代表質問 — 7

一般質問 — 10

議決結果 — 13



給食センター予算を可決

委員会では修正案を賛成多数で可決

平成 27 年度の一般会計予算は、3 月 13、16、17 日の 3 日間「一般会計予算決算常任委員会」で審査が行われました。予算総額は 248 億 500 万円で、大型建設事業等の終了により、前年度比で 12.3%、34 億 8140 万円の減額となりました。

予算概要書に掲載された主要施策のうち 53 事業を抽出し、実施計画と事業評価シートを中心に委員会審査を行いました。3 日間の審査のあと、委員間で自由討議を行い、予算に対する修正動議が出されました。修正案は「学校給食センターの用地購入費 100 万円を残して減額し、予備費に入れる」との趣旨で、採決の結果、賛成 5、反対 3 で修正案が可決されました。

なお本会議では、この委員会修正案が反対多数で否決され、予算原案が賛成 13、反対 7 の多数決により可決されました。

新年度の新たな事業として①山口東京理科大学公立化準備②移住用プロモーションビデオ作成③第二次総合計画策定④地域公共交通網形成計画策定⑤地域通貨導入⑥学校給食共同調理場建設⑦新火葬場基本設計などが予算化されました。

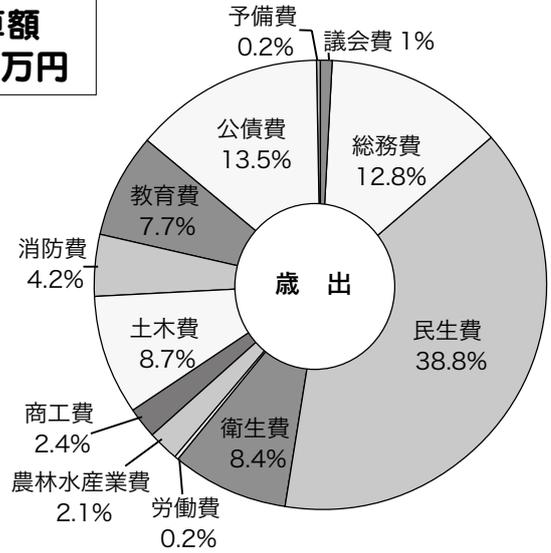
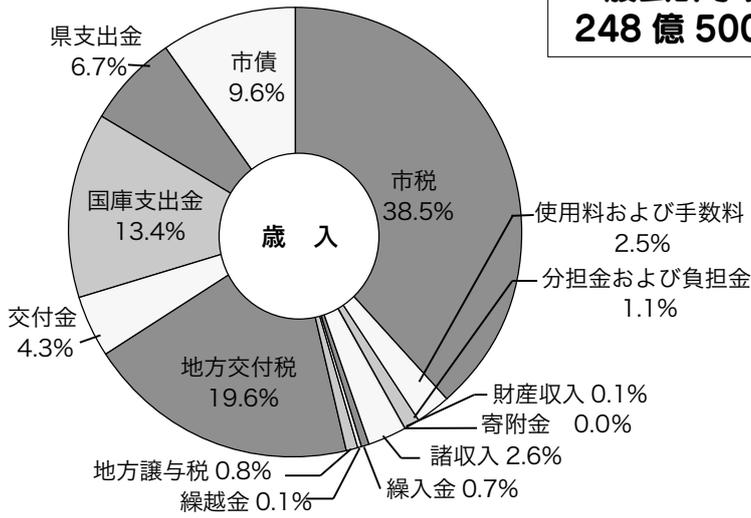


●新年度予算の主な新規事業

地域通貨	学校給食センター化	山口東京理科大公立化	新火葬場建設
34 万 2 千円	1 億 4342 万 4 千円	176 万 1 千円	1200 万 3 千円
本市の商業、サービスの活性化を図ることを目的に、平成 27 年度から介護ボランティアのポイントを地域通貨として発行。年間ポイント 5 千円を超えた分を地域通貨で交換する。	5500 食の 1 センター方式の共同調理場を建設するため、用地購入、測量調査を行う。平成 29 年 9 月供用開始予定。	平成 28 年 4 月から公立化、平成 29 年 4 月から薬学部新設について、県知事、文部科学大臣への申請等を行うための準備事業。	山陽斎場での建替えを行うために新火葬場の用地購入を行う。
			

現在の山陽斎場

**一般会計予算額
248億500万円**



山口東京理科大学

◎委員会修正案に対する討論

◇賛成【長谷川議員】市民の強い不安を残したままでの議案の採決は、市民の行政・議会への不信を招き「市民が主役」とは言えない。もっと市民に理解を得る努力をすべきだ。

◆反対【福田議員】議会が指摘した8項目の改善策を周到に用意して臨んでいる。限られた予算で安全安心な給食を目指すことが喫緊の課題で、教育委員会の対策も納得できる。

◇賛成【河野議員】給食のあり方検討会議や請願など市民の声は2センター以上だ。財政上の理由だけで市民や議会に背を向け1センターに固執するのは市民本位の行政ではない。

◇賛成【岩本議員】市民や保護者の意見が全く反映されない1センター化という大型事業を、審議会も設置せず諮問もされないことは重大だ。学校給食の審議会設置を強く求める。

附帯決議

1. 人口増につながる積極的な施策の展開を図ること。
 - (1) 子育て支援の拡充
 - (2) 地方創生総合戦略の早期策定
 - (3) 定住促進事業の推進
2. ふるさと寄付金の拡充を図り、観光振興にも結びつけ、もって情報発信に資すること。
3. プレミアム付商品券の活用を図り、地域通貨の拡充にもつなげ、地域振興の活性化を図ること。
4. 実効性のある計画作成に努め、本市全体の公共交通体系の基本理念を確立すること。
5. 機能的で機動力ある組織機構の確立と事務量と事務の内容に則した人的配置に努めること。
6. 地方創生事業については、全庁的な体制を確立し、効率かつ迅速な取り組みを図ること。

◎予算原案に対する討論

◆反対【中島議員】①子ども医療費無料化が貧弱②市民病院の救急医療体制は不十分③マイナンバー制は個人情報危険④地域通貨が2万円では不十分⑤学校給食は1センターありきの計画だ。市民が主役の予算となっていない。

◆反対【矢田議員】学校給食問題で教育委員会は昨年と同額予算を提案し、市民抜きで見切り発車しようとしている。小野田側の親子方式を維持しつつ、山陽側のセンター化など選択肢はまだあった。



委員会レポート

■ 総務文教常任委員会

特別会計

● 27年度オート事業会計予算

返済計画は今後作成

概要 歳入歳出予算総額をそれぞれ84億3001万2000円とし、歳入では、勝車投票券発売収入を79億3550万8000円、場外発売事務協力収入を2億8892万3000円、歳出では、包括的民間委託料を6億5000万円、勝車投票券払戻金を54億9371万6000円とするものです。

主な論点 「発売収入については、毎年のように下がってきたが、下げどまり感があるのか」の質問に「2月の普通開催までの実績を踏まえ、26年度の決算見込みとしては、下げどまりの状況と判断している」「債務の返済計画についてはどうか」の質問に「現在の計画での対応はできないので、今後新たな返済計画を作成する」との答弁がありました。

結果 全員賛成

条例

● 厚狭地区複合施設条例の制定

コミュニティ施設として

概要 厚狭地区複合施設が、平成27年度に完成し供用開始予定であることから、施設の設置目的、名称、位置及び使用料など条例として定めるものです。

主な論点 「コミュニティ施設としての使用とは、具体的にどういった想定ができているのか」の質問に「例えば公民館の使用許可基準でいくと、懇親会といった飲食を主な

目的とするものは原則許可できないが、コミュニティ施設では使用が可能となる」との答弁がありました。

結果 全員賛成

請願

● 学校給食を親子方式で実施することを求める請願

賛成少数で不採択に

概要 「学校給食施設について、本来、自校方式が理想であるが、市の財政事情を考慮して、現在小野田地区で行われている親子方式を山陽地区にも整備し、市内の給食施設を親子方式で実施してほしい」というもので、平成25年11月に約4500名の署名とともに提出され、委員会として継続審議をしてきたものです。

主な論点

- ・「アレルギー対応は十分か」「市民合意はなされたのか」など8項目の指摘事項は改善されたのか。
- ・栄養教諭など現場への説明は十分行われたのか。
- ・27年度予算において再度1センターの予算が計上されたが、一般会計予算決算常任委員会で修正可決された。

等の観点から、調査・協議を重ねました。

結果 賛成少数で不採択





委員会レポート

■ 民生福祉常任委員会

特別会計

● 27 年度国民健康保険会計予算

コンビニ収納の効果

概要 予算総額は 83 億 9886 万円で前年度比 11.4% 増となります。給付費は 26 年度決算見込みより 2.7% 増額だが、このうち退職被保険者は減少しています。

主な論点 「コンビニ収納の効果はどうか」の質問に「実績から見ると効果が出ている。7000 件の予算を組んでいる」「医療費が県下で高い方だがその原因は」の質問に「他市に比べ高齢者の割合が高いため医療費が高くなる傾向である。また受診率も高く生活習慣病の割合も高い状況である。どの疾患も 50 代から急激に増えている」との答弁がありました。

結果 全員賛成

条例

● 介護保険条例の一部改正

保険料が改定される

概要 第 6 期介護保険事業計画策定に伴い介護保険料が改定されます。また「介護予防・日常生活支援総合事業」「生活支援体制整備事業」「認知症総合支援事業」の 3 事業の実施開始について準備期間が必要なため、猶予するものです。

主な論点 「生活保護受給者にも保険料がかかるが減免措置はどうか」の質問に、「生活保護者の減免措置はないが、生活保護法の基準により保険料が支給される」「保険料が上がる要因は」の質問に「高齢者人口の増加

に伴い介護認定者数が増えている。若干施設整備の影響もある」「保険料は県下ではどうか」の質問に「各市確定ではないが中位である」との答弁がありました。

結果 全員賛成

企業会計

● 27 年度病院会計予算

新病院が本格稼働へ

概要 入院患者を 1 日あたり 183 人、外来患者を 1 日あたり 500 人として医業収益を 2 億 2217 万円増の 37 億 4534 万円とするものです。費用については光熱・燃料・修繕費は減少しましたが、院内保育所の運営費や新病院減価償却費などで大幅に増加したため、当年度純損失 1 億 6488 万円を見込むものです。

主な論点 「医師や看護師不足は大丈夫か」の質問に「4 月から麻酔医、6 月から眼科医 1 人増員し、また来年度以降も増員する。看護師数は今の状況でやっていける」「医師の数が增えることで夜間の救急体制等の強化となるのか」の質問に「それを目標にしているが、今の体制でも他病院に比べ医師は良く頑張っている」「地域連携室の体制はどうか」の質問に「今 2 人だが、医事課と一緒に地域連携に努力している」との答弁がありました。

結果 全員賛成



■ 産業建設常任委員会

特別会計

◎ 27年度駐車場会計予算

29年度をめどに料金見直し

概要 厚狭駅南口の駐車場使用料は、初日12時間までが最大500円、24時間までが最大1000円、2日目以降が1日1200円です。平成25年度実績をベースに3%の増収を見込んで年間2710万4000円の使用料収入を計上しています。

主な論点 「使用料は適切なのか。見直しについての考えは」の質問に「駐車場会計を維持するという観点から料金を検討した。平成29年度あるいは30年度からの料金体系の見直しが好ましいと判断している」との答弁がありました。

結果 賛成多数

条例

◎ 起業家支援センター条例を廃止する条例

「日の出市場」を廃止

概要 当センター（日の出市場）は起業家を支援する目的で設置されましたが、平成22年8月以降出店がない状況が続いていることを受けて、今年3月末をもって閉鎖するため条例を廃止するものです。

主な論点 「廃止後の使用状況は」の質問に「駅前商連から施設を貸してほしいという要望があるのでこれに答えていきたい」「今後の起業家支援策は」の質問に「商工会議所と連携を図りながら起業家支援をしていく」との答弁がありました。

結果 全員賛成

企業会計

◎ 27年度水道会計予算

宇部市との広域化を検討

概要 水道事業広域化に関する研究会を設置して1年間の研究を重ねた結果、両市水道事業が安定した給水と経営基盤を維持するために何らかの広域的な体制を構築することに多くの利点があるとして、水道事業の広域化について検討し、推進していくことの報告を受けました。今年度は宇部市と共同で広域化調査に関する業務をコンサルタントに委託するための負担金828万5000円が計上されています。

主な論点 「本市と宇部市との負担割合は」の質問に「828.5対2071.5になる」「広域化にむけての大まかなタイムスケジュールは」の質問に「今年4月に検討委員会を設置し、来年3月ぐらいをめどに基本計画を策定する」との答弁がありました。

結果 賛成多数



← 日の出市場



代表質問

白井市政 10 年の評価は

会派 日本共産党 山田伸幸 議員

問 白井市政 10 年の評価は、合併後 10 年の評価でもある。自らの市政についてどう評価しているのか。

答 時代がめまぐるしく変わり、それに対応してきた。住みよさが実感できるまちを目指してきた。

問 施政方針について、「3つの視点」が持ち出されたが「市民が主権者」が抜け落ちている。なぜか？

答 市民が主役は変わっていない。

問 以前の答弁で「市民が成熟していない」と答えたが、その真意は？

答 民主主義の根幹は選挙である。一昨年の住民投票の際に足を引っ張った市民がいた。市長選挙も投票率が低く 50% を割った。



市役所、倒壊の危険性は

会派 改進黨 河崎平男 議員

問 災害に強いまちづくりにおいては、庁舎などの公共施設は不特定多数の市民が集う場所であり、耐震対策を早急にしなければいけないと考えるが、今後の計画はどのようになっているか。

答 建築物の耐震改修の促進に関する法律が改正され、不特定多数が利用する建築物は「要緊急安全確認大規模建築物」とされ、耐震診断の実施と報告が義務づけられた。該当する施設は市民病院、市役所とオートレース場の 3 施設である。市民病院はすでに建て替えが終わり耐震対策はできている。

市役所は耐震診断の結果、倒壊する危険性があり、耐震改修等に関する基本的な方針をまとめ、有利な財源等を活用し耐震改修を実施する

予定である。

オートレース場は現在、耐震診断の業務委託をしているので結果をみて対応する。

また、その他の公共施設は、公共施設再編のあり方を検討する中で方向性を示していく。



市役所



代表質問

地方創生に対する取り組みは

会派 誠風 石田 清廉 議員

問 定住自立圏施策や地方創生施策など、市の少子化、高齢化に伴う人口減少問題など喫緊の課題に対する取り組みはあるのか。

答 国は、定住自立圏の形成促進を上げている。しかし、本市はその条件である昼夜間人口及びその他の理由により形成は不可能だが、広域の見地からまちづくりを進めていくことは極めて有効な手段であり様々な分野での広域連携を検討したい。

問 自主的・主体的な取り組みとなる地方創生のための総合戦略を策定するとあるが具体的にどのようなものか。

答 まち・ひと・しごと創生法に基づき、人口の現状分析、将来の展望を内容とする「地方人口ビジョン」及びそれを踏まえた目標、施策などを「地方版総合戦略」として策定し実行する。客観的な分析に基づいて課題を把握し、既存事業の拡充に新規事業を加えた施策としたい。

人口減少に対する施策の展望を聞く

会派 市民クラブ 長谷川 知 司 議員

問 人口減少に対する取り組みはどうか。

答 喫緊の最重要課題と捉えている。20年30年先を見越した人口ビジョンと施策体系を掲げた総合戦略の5カ年計画を27年度中に策定する。

問 長期展望は、腰を据えて取り組む必要があるが、職員の育成や職場の環境整備はできているのか。

答 市民ニーズの多様化等でも職員の専門性が必要とされる時代となっている。今後、職員の育成や職場の環境整備に柔軟に対応したい。

問 地域創生を活かす地域力と住民協働の考えはどうか。

答 地域コミュニティの活性化を通じた地域力の向上や、介護や子育て分野のボランティア活動の育成、支援に努め、施策の策定には市民代表も加わってもらいたい。





代表質問

理科大の公立化を活性化の手段に

会派 進化 伊藤 實 議員

問 山口東京理科大学の公立大学法人への移管について、今後のまちづくりにどう生かすのか。また薬学部の建設場所について新幹線厚狭駅前がさまざまな波及効果が期待できると思うがどうか。

答 産業の活性化、市民の高度な高等教育に触れる機会の増加、周辺地域の活性化、定住人口の増加等につなげていけるものと思う。新幹線厚狭駅前の薬学部キャンパスも魅力的であると感じている。

問 スポーツでのまちづくりに関して今後「レノファ山口」をどのように活用していくのか。また、多くのゴルフ場を有する本市のゴルフを初めとする、他のスポーツにどのように波及をしていくのか。

答 競技スポーツ及び生涯スポーツの普及、振興、住民相互の一体感の醸成及び地域活性化の推進等において活用していく。サッカーのみに特化するつもりはなく、他の競技、スポーツについても、まちづくりのツールとして、精一杯携わる。



◎特別委員会を設置しました

本市は、平成28年4月より山口東京理科大学を公立大学法人へ移管し、さらに県内初の薬学部を新設する計画を打ち出しています。

市議会としてもこの計画を市政の重要課題と考え、大学の公立化と薬学部の新設に伴う本市への影響等を調査し、公立化の妥当性を検討するため、新たに特別委員会を設置しました。

<山口東京理科大学公立化調査検討特別委員会>

委員長 伊藤 實	副委員長 笹木 慶之
委員 石田 清廉	委員 大井 淳一郎
委員 河野 朋子	委員 中村 博行
委員 長谷川 知司	委員 山田 伸幸
委員 吉永 美子	

今後は、公立化した場合の志願者動向、地域経済への影響、財政シミュレーションなどを調査し、将来、本市にとって過大な負担とならないよう鋭意検討してまいります。





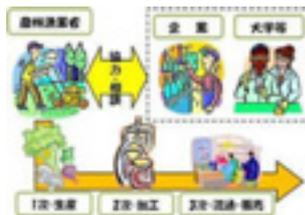
一般質問

農産物の6次産業化は

松尾数則 議員

問 6次産業化については国、県も積極的に取り組んでいる。その中で、山陽小野田市の取り組みはどうか。

答 ブランド化を進めている農産物について6次産業化の可能性、実現性を協議中である。総合的に進めるために行政、農林漁業、商工、金融等の関係機関で「6次産業化地産地消推進協議会」を設置し、戦略構想の策定を検討している。



中学校にストーブを

岡山 明 議員

問 寒さ対策として、小学校では全てストーブが設置されている。中学校では近隣の市は設置されているが、本市には設置されていない。今後の対応はどうか。

答 保護者、生徒からの要望を各学校で問い合わせたところ、数人程度からの申し出があったという話だ。暖房設備の設置については、医師などの専門家の意見を聞くなどの研究等をして、対応を検討したい。



70歳現役社会の構築を望む

笹木慶之 議員

問 少子・高齢化社会において生産人口の確保は重要な施策である。昨年、就業の場の確保を含めた70歳現役社会の構築について尋ねたが、現状と今後の取り組みはどうか。

答 現在、市及び各事業所において、定年後65歳までの再雇用等が進められている。さらに、市の雇用能力開発支援センター内の地域職業相談室においても、高齢者の職業相談を行っている。年齢に限らず働く意欲のある高齢者の雇用確保を積極的に進める必要がある。



市民の願いを叶えてほしい

吉永美子 議員

問 新火葬場の基本計画には、動物炉の設置は『民営圧迫になる』と記載されているが、なぜ断言できるのか。そして、動物炉設置を求めるパブリックコメントを計画にどう反映させるのか。

答 あえて市がペットの火葬を行うべきであるとは考えていない。民営圧迫を断言できるかと言われると、言葉足らずの部分があったと思う。パブリックコメントについては、十分検討はしたが、計画案への反映、または変更までには至っていない。



視察した美祿市の動物炉



一般質問

川東地域のほ場整備は

中村博行 議員

問 杣尻・川東地域の農業従事者は農地、農業を守るという強い思いで、早い時期でのほ場整備を望んでいる。この事業についての計画はどうなっているのか。

答 農業衰退の中、地域の強い思いを受け止め、現時点での計画はないが具現化に向けて努力する。後潟地区の事業完了直後からの実施となれば、法人化や同意書等の手続き、調査に3年はかかるので28年度からの準備が必要である。地元負担については総事業費の8%である。



ほ場整備を待つ
川東地域

理科大公立化、市民への説明は？

河野朋子 議員

問 公立化については、昨年7月末に急浮上して11月末には方針を決定したとのことで、短期間でしかもごく数名で協議し、市民の知らないうちに進められた感が強い。この問題は、将来市への財政的な影響が出る可能性もあるので、もっと詳しい情報を提供して市民へ説明したり、市民の声を聞く場が必要ではないか。

答 政治手法の違いである。反対が前提だからそのような質問が出てくるのではないかと。一般会計から1円たりとも借りることはない。



山口東京理科大学

給食センター計画は大丈夫？

岩本信子 議員

問 給食センターでの献立や食材納入など現場の調理員・栄養士と、十分に話し合っで進めているのか。また共同調理場建設計画は現場の職員が一丸となって取り組んでいるという自信はあるのか。

答 食材は供給する側が重要であり、栄養士や調理員に説明しながら進めている。食材をそろえることが不可能だとは聞いていない。また、これまで経験のないことをするので、不安があり自信があるとは言えないが、具体的に詰めていく中で、皆さんの理解が進むと思う。



子どもの医療費援助制度の拡充を

中島好人 議員

問 全国では、中学校卒業までの医療費援助が56.7%、そのうち所得制限なしが77.4%となっている。山口県下でも宇部市長が「子どもの医療費助成制度を中学校3年生まで拡大する」と施政方針で述べるなど、少なくとも自治体で拡充が提案されている。「子どもの貧困」という面からも拡充を求めるがどうか。

答 4月に開く「地方創生戦略会議」の項目として取り上げる。





一般質問

観光振興の具体的対策は

杉本 保喜 議員

問 観光振興ビジョンのパブリックコメントが終わったが、今後の観光振興での具体的な計画はどうか。

答 パブリックコメントで市民からの意見はなかった。今後、基本戦略に掲げている観光ボランティア育成のための研修会、ウォーキング等を開催して魅力発信の体制づくりへつなげたい。また、観光協会をはじめ、両商工会議所、農協、金融機関等関係団体との連携を図るとともに、庁内プロジェクトも早々に立ち上げたい。行事に合わせて観光案内所を設置したい。



本山岬

スポーツ・文化を本来の部署に

大井 淳一郎 議員

問 現在、成長戦略室がスポーツ・文化に関する事務を担当しているが、他市のように総合政策部などの部署に振り分けるべきではないのか。

答 指摘はもっともである。率直に言ってスポーツ・文化に振り回されているようだ。平成27年度は現代ガラス展に向けて取り組んでいるため、途中で変えることはできないが、平成28年度からは本来の部署を決めたいと思う。そうすればもっと横串の機能が発揮されると考える。



文化会館大ホール

給食「改善策」は努力目標か？

下瀬 俊夫 議員

問 学校給食の1センター化に対する議会からの「8項目の疑問点」に対して、教育長は「アレルギー対応を含めて、現状の対策は最低でもすべてできる」と言うが、担当者の聞き取りでは「努力目標」だと言っている。どちらが本当なのか。3月議会を乗り切るためだけの議会へのリップサービスなのか。

答 8項目が全てできるとは言っていない。少しでもいい方向に向くように努力するということだ。



ニュース

9月から委員会中継始まる

委員会中継

本会議の中継システム（カメラ、マイク、録音）の更新が行われ、これまでより鮮明な画像と音声で9月から実施されることになりました。

これまで「議会のあり方調査検討委員会」で早期実施を目指してきた「委員会中継」についても、9月から開始することとなりました。委員会中継はユーストリームでライブ配信し、YouTubeで録画配信をしますので、スマートフォンや自宅のパソコンでライブ、録画ともに見ることができます。また、ライブについては、本会議中継同様公民館等でも見ることができます。



議決結果

◎議案に対する議員の賛否状況

3月定例会で議案等54件を審議し、賛否の分かれた18件を掲載しています。そのほかについては、全員賛成で可決しました。全議案の審議結果は、市議会ホームページに掲載しています。

平成27年3月定例会 議案の審議結果	議決結果	議員名																				
		石田清廉	伊藤貴	岩本信子	大井淳一朗	岡山明	小野泰	尾山信義	河野平男	河野朋子	笹木慶之	下瀬俊夫	杉本保喜	中島好人	中村博行	長谷川知司	福田勝政	松尾数則	三浦英統	矢田松夫	山田伸幸	吉永美子
平成27年度山陽小野田市一般会計予算について【委員会修正案】	否決	×	×	○	×	×	×	/	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	×
平成27年度山陽小野田市一般会計予算について【原案】	可決	○	○	×	○	○	○	/	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×	○
平成27年度山陽小野田市駐車場事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
平成27年度山陽小野田市国民健康保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
平成27年度山陽小野田市介護保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
平成27年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
平成27年度山陽小野田市地方卸売市場事業特別会計予算について	原案可決	○	○	×	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度山陽小野田市下水道事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
平成27年度山陽小野田市病院事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
平成27年度山陽小野田市水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
山陽小野田市組織条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
山陽小野田市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
山陽小野田市教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
山陽小野田市教育長の勤務時間、休暇等に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
山陽小野田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
山陽小野田市立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
山陽小野田市の学校給食を親子方式で実施することを求める請願書	不採択	×	×	○	×	×	×	/	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×

※表の見方 ○：賛成 ×：反対 —：棄権又は欠席 尾山信義議員は議長であるため賛否の結果はありません。

ニュース

皆様の声をお聞かせください

自治会懇談会

議会が政策立案を行うために必要な情報を収集する手段として、自治会懇談会を開催しています。対象は市内の自治会です。

議員が各自治会に出向き、生活に密着したご要望やご意見をお聞きします。いただいたご要望等については早急に議会で検討し、結果や進捗状況を自治会に回答いたします。

開催を希望される自治会は、申込書を議会事務局へ提出してください。メールやFAXでも受け付けています。

これからも市民と議会をつなぐ手段をたくさん準備していきますので、ぜひご活用ください。

ニュース

理科大を視察しました

山口東京理科大学視察

4月22日(水)山口東京理科大学公立化調査検討特別委員会が大学に視察に行きました。まず、大学の概要について、森田学長事務取扱からのパワーポイントによる説明を受けた後、大学の施設内を視察しました。

学内には実験室や機械類など工学系の大学の特色といえる施設や設備が多くありました。

その後の質疑では、大学の経営状況や施設設備の修繕、更新、卒業生の就職状況などについての質問が出ました。



お知らせ

6月定例会会期日程(予定)

本会議の日程

6月定例会の日程(案)をお知らせします。会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。

開会時間は午前10時です。

月 日	本会議
6月8日(月)	議案上程・説明
6月22日(月)	一般質問
6月23日(火)	一般質問
6月24日(水)	一般質問
6月25日(木)	一般質問
6月30日(火)	質疑・討論・採決

編集室より



統一地方選に続くゴールデンウィークも終わり、ホッと一息つけるこの頃です。

さて、市議会は「通年的」サイクルで議会活動を進めます。提案される予算や決算の審議サイクルとも関連するからです。

ただ、議員の任期4年間に何ができるのか、「通年的」な発想も議員には求められています。

もうすぐ任期の半ば、市民への公約を再度思い起こす時期にきています。

◎広報広聴特別委員会議会広報部会

委員長 三浦英統 副委員長 山田伸幸
 部会長 河野朋子 委員 岩本信子
 委員 大井淳一郎 委員 河崎平男
 委員 笹木慶之 委員 下瀬俊夫



《表紙の説明》 市民病院のグランドオープンに合わせて、以前から乗り入れ希望があった路線バスが、玄関先に乗っつけられるようになりました。「長く歩かなくて助かります」と市民から喜ばれています。